



令和7年2月1日発行

No.12



## ごあいさつ

県母子部会長 岩 下 晴 美

皆様いかがお過ごしでしょうか。

日頃からそれぞれの地域で「ひとり親家庭」母子家庭等、生活の安定と自立のため、様々な課題に対しまして関係機関と連携・協力しながら日々の活動に取り組んでいただいていることに、心から感謝申し上げます。

さて、昨今では経済状況の停滞や急激な物価上昇で、日々の生活はますます厳しいものとなっています。

このような状況ですが、私たちは子どもたちの笑顔と夢を実現できるよう、環境づくりをし問題解決に努めています。そして、子どもたちの「明るい未来」を心から願っています。

また、今後も皆様と新たな知識を身に付け、情報を共有し実生活において活かしていくことができればと思っています。

子育てをしながら頑張っている皆様のますますのご健勝ご活躍を祈念いたしましてあいさついたします。

### 夢を応援基金

## 「ひとり親家庭支援奨学金制度」



全母子協とローソングループが力をあわせ、ひとり親家庭の生徒さんを応援する「給付型奨学金」です。

◇奨学金額 月額3万円（返還不要、他の奨学金と併用可）

◇対象者 中学3年生、高等学校等1年～3年生

◇募集人数 全国400名（申請書、作文・面接等の選考により決定）

2024年度 栃木県では、5名の奨学生が給付を受けています。



2025年度は、2月中旬頃 募集内容が発表されます。

※詳細については、全国母子寡婦福祉団体協議会のホームページで確認してください。

## 頑張ってます！

各市町母子会の活動状況や頑張っているお母さん、子どもたちを紹介します。

### \* 壬 生 町 \*

♥ 今年度は色々と盛り沢山の1年のひまわり会でした。「夢を応援基金」の影響もあり、6組の母子会員が増えました。



まず4月には、竹林を所有している企業さんのご好意で「たけのご掘り」を開催しました。当日は役員はじめ社協の皆さんなどにもお手伝いいただき、会場でたけのごご飯を炊いたり、たけのごなどの天ぷらを揚げたり、焼きそばを焼いたりして、母子部会員親子と非会員親子にも参加してもらいました。

6月には、毎年恒例の加入促進事業の「いちご狩り」を開催。7月の夏休みの最初の日曜日には、親子交流事業として「チョークアート」を開催しました。

秋には日帰り視察研修を実施し、桐生にある「あいおい子ども食堂」の視察をし、あいぞめ体験をしてきました。

そして11月には、ランドセルやカバン等を作っている県外の企業さんから、県の方に寄付のあった新品のランドセルが、来年の春に1年生になる会員のお子さんに贈られました。希望していた色のランドセルを受け取ることが出来て、お母さんもお子さん、それはもう喜んでいました。

これからも、ひとり親のお父さんお母さんが少しでも安心出来るよう、そして子どもたちの笑顔が広がるよう、新しく加入してくれた会員さんたちをひまわり会のみんなで大切にしていきたいと思っています。

(石川 由美)



### \* 鹿 沼 市 \*

♥ 2024年の鹿沼市の活動紹介を一部したいと思います。

夏休み中は、社会福祉協議会主催の子供の遊び場&食品配布会がありました。そこで、団体としてブース出しました。鹿沼市にある木工所の協力のもと、木で作る「スマートねこちゃんデコパージュ」のワークショップを開きました。たくさんの親子が体験してくれて用意したセットがすべてなくなるくらい人気がありました。親子とふれあい、直接お話ができたので、団体の紹介ができるよい機会となりました。

団体単独としては、夏休み宿題応援として、習字教室を開催しました。家で習字をするのは大変なので、とても助かりました。子どもも宿題が一つ終わるので、自主的に参加し集中して仕上げていました。

秋からの活動に親子で楽しめるパソコン教室を開催しました。この事業は共同募金より実施しました。2回シリーズとして講師を呼び、1回目は親子プログラミング教室です。子どもでも楽しめるよう、初級レベルの内容でscratchを使ってプログラムを作る内容でした。2回目は夏休みの思い出カレンダーを作ろうです。自分で用意した写真を使いカレンダー作りを教してもらいました。子どもも楽しんでパソコンに触れ合う機会となり、作ったカレンダーは印刷してもらい持ち帰ることができたので、家で飾ることができてよかったです。

冬には12月にクリスマス会を開催する予定です。去年のクリスマス会は、会員の子どもたちで早めに集まり、風船を膨らませたり壁に飾り付けをしたリツリーを飾ったりしました。去年はビンゴやケーキにプレゼントも用意し、大変喜ばれた会となりました。今年も親子で楽しめる会にしたいです。

(森田 奈巳子)

### \* 足 利 市 \*

♥ 「母子招待事業として」8月11日、茨城県アクアワールド水族館に親子43名大型バスで行ってきました。ちょうど連休だったので道路も水族館内も大変混雑しておりイルカショーも時間に追われて見られない親子もいたようでした。昼食も親子で時間を考えながら食べていたようでした。限られた時間の中で親子で会話のキャッチボールをしながら水族館内を鑑賞していたようでした。水族館をバスで出発しめんたいパークに寄りました。集合時間にも遅れずにみなさん頑張って元気に帰ってきました。来年は日取りと場所をしっかりと確認して一人でも多くの参加者が集まれるよう頑張ります。

(大野 寿美子)

### \* 塩谷地区連合体 \*

♥ 令和6年9月22日(日)、町内の渡辺果樹園へ梨狩りに行きました。生憎の雨となってしまうしましたが、13名の参加でした。

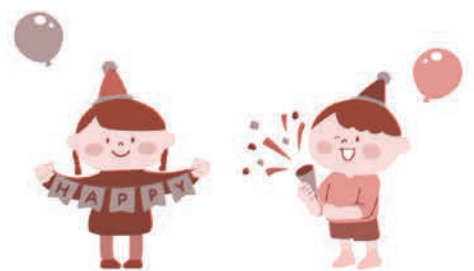
梨園にて、一袋7~8個入りの梨を、2種類(秋月、豊水)のどちらかを選びお土産に。選んだ品種でないほうの梨も、「食べ比べてみてね」と、参加した一家族に1個ずつですが頂きました。

その後は、みんなでファミリーレストランに行きました。予算内であれば何でも好きなものを注文して良いということで、皆さんの選ぶ目は真剣です。子どもはもっと真剣です。好きなものだけが目の前に並び、嬉しそうに食事を楽しみました。

食事をしながら、母子会の役立つ情報交換もできました。

これからも、子どもから大人まで、みんなで楽しめる企画を考えていきたいと思っています。

(H・E)



## \* 栃木市 \*

♥ 2024年7月28日(日) 加入促進の行事として群馬サファリパーク&こんにゃくパークへ行ってきました。バスに乗って運転手さんのガイドで進んで行き、ウォーキングサファリゾーンで、フラミンゴの群れが、まるで歓迎してくれているかのように、華麗なダンスを披露してくれたのは、とても可愛らしく、嬉しかったです。参加して下さった会員さんのお子様から「サイヤバッファローがとっても大きいことにビックリ!! うちもリアルに見られて面白かった。お友達のお土産選びも楽しかった」と嬉しい感想をいただきました。

こんにゃくパークは、無料バイキングを楽しみました。ただ夏休み&無料だからか? お替りを取りに行くのも大変な程満席で、サファリパークで昼食を済ませてきて正解だったようです。

早々に引き上げお土産コーナーで「こんにゃくはヘルシー、食べても太らない!!」と大量に買い込んで荷物が重くなってしまったのは私だけではないと思います(笑)

帰りのバスは猛暑のせいで、エアコンの効きが悪かったようで、本当に今年の夏も暑いんだなぁと実感しました。「もう少し涼しくなってからがいいなぁ」というご意見も頂いたので、時期の検討と、会員さん以外の方にも参加していただけるよう、早めに企画し周知してみたいと思います。(谷部 靖代)



## \* 那須塩原市 \*

♥ 那須塩原では、10月20日に横浜散策、カップヌードルミュージアムに行ってきました。母子の参加は7組と少なかったのですが、自分オリジナルのカップヌードルを作り、美味しいランチを堪能し、お土産を沢山買って楽しい一日を過ごしてきました。

12月22日には、恒例のクリスマス会を行います。ケーキにデコレーションをし、ビンゴゲーム、一緒にお弁当を食べます。日頃母子どうし交流がとれなくても、一緒に作って楽しんで会話も弾みます。子供が中・高生になると、親と一緒に参加は難しくなりますが、お母さんだけの参加が出来る様声かけを行っています。

今後はキャンプ、一泊旅行、ディズニーランドとアンケートの意見が沢山ありますので、検討していきたいです。(織田 敏枝)

ランチクルーズに  
参加して

県の頒布事業で11月5日、東京ベイクルージングレストラン「シンフォニー」のランチクルーズに行ってきました。東京湾の景色を眺めながら、ゆっくりとランチをいただきました。デッキにでると少し風がありましたがダイナミックな東京の景色を堪能でき、有意義な一日を過ごすことができました。デザートについていたクッキーが美味しくて、船の中の売店にあると聞き買いにいきました。950円でちょっとお高めでしたが(笑)。

ランチがおわるとソプラノ歌手のコンサートがあり、素敵な歌声で皆聞きほれていました。

クルーズ船をおり、旧古河庭園で薔薇を見学しました。100種の薔薇がありとても綺麗に手入れされてました。私は花より団子で薔薇の花びらが入っているというジェラートをたべました。薔薇の香りが凄くして美味しかったです。

また、このような機会があったら参加したいと思います。

(M・M)

ローソン夢を応援基金奨学金を受給して  
"システムエンジニアをめざして"

私は今、受験期真っ只中の中学3年生です。どんな自分になりたいかを思い浮かべたときに、必要であったり、大切なことを学べる高校進学を目標にしています。焦ったり、不安な気持ちになることもありますが、志望校に合格するために受験勉強をがんばっています。私は中学校の生徒会長を務めています。学校の生徒会活動と勉強を両立することは、とても大変だと感じていますが、同時に生徒会長としての生徒会活動をとても誇りに思っています。大変ではありますが、とてもやりがいのある仕事です。

私の今後の目標は、好きなことも、嫌だと思ふようなことも全力で取り組み、全力で楽しめるような、豊かな人間性をもつ人になることです。全力で取り組むことはもちろんのことですが、全力で楽しむことも重要であると思います。楽しむことが行動力の源になると考えているからです。社会人になったときに最も大切なのは、豊かな人間性だと思ふので、学生である今のうちから人との関わりを大切にしていきたいです。

これからも、志望校合格やなりたい自分になるための努力を続けたいと思います。(奨学金受給者)

# ひとり親家庭サポーターのつどい

R6.11.10(日)

## ～親子のかかわり方～

令和6年11月10日(日)、パルティ・ホールにて開催されたひとり親家庭サポーターのつどいは、「親子のかかわり方」をテーマに、栃本市東光寺の住職、市村直哉氏をお迎えし、法話が行われました。



市村氏は、ご自身も二人の子を持つ父親であり、幼稚園の園長を務めているほか、法話グランプリ初代チャンピオンという多彩な経歴をお持ちです。会場の参加者全員が、市村氏のユーモア溢れる法話を楽しそうに聞き入っていました。

法話では、仏教的な視点から見た親子のかかわり方について、3つの重要な点が提示されました。

1つ目は、「縁起」の考え方です。すべての結果には必ず原因があり、問題解決のためにはその根本的な原因から見直す必要があるという教えです。この考え方は、子育てにおいても、子どもの行動の原因を深く掘り下げて考えることの大切さを教えてくれます。

2つ目は、「慈悲」と「智慧」のバランスです。慈悲とは、相手に対して幸せになってほしい、心地よく過ごしてほしいと願う心であり、智慧とは、経験や学びから得られる力です。仏教では、観音菩薩様が慈悲を、勢至菩薩様が智慧を司る存在として信仰されています。

3つ目は、「即身成仏」の考え方です。もし自分が理想の親だったら、子どもに対してどのような行動をとるかを自問自答することです。仏教的な理想の親像だけでなく、自分自身が尊敬する人物やメンターを参考に、理想の親像を描き出すことも有効です。市村氏は、自身の経験を交えながら、この考え方をわかりやすく説明してくださいました。

これらの3つの考え方を身につけることで、より円滑な親子関係を築くことができるでしょう。

最後に、市村氏は、子育ての悩みは一人で抱え込まず、同じ境遇の仲間と共に見つけることが大切だと強調されました。子育ては一人ではできないという普遍的なメッセージは、参加者たちの心に深く響いたことと思います。私も、この会で多くの仲間と出会い、共に子育てをしてきた経験から、その言葉の重みを改めて感じました。

今回のサポーターのつどいは、活発な質疑応答が行われ、参加した方の満足度も高かったのではないのでしょうか。企画してくださった母子部の皆様、そして、素晴らしいお話をしてくださった市村先生に心から感謝申し上げます。今後も、このような機会を通じて、子育ての悩みを共有し、共に成長していけるような場が提供されることを期待しています。

(野呂 江身子)



奈良県の旬力ザマ様より  
ランドセルの寄付がありました。

今年1年生になる会員の  
子どもさんに差し上げました。

ランドセルを頂きました

「ぶちとまと」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

編

集

後

記

ぶちとまとを発行するにあたり、  
原稿を寄せてくださった皆様ありが  
とうございました。

それぞれの活動の様子がお互いの  
励みになることを願っています。



公益財団法人 栃木県ひとり親家庭福祉連合会

宇都宮市野沢町4-1 ☎ 028(665)7806  
発行人: 栗橋 幸子 印刷所: 高橋平版社